



# 遠大勵志

## 対面式・・・

2, 3年生に対して、佐藤碧美さん(1年4組)が新入生代表として、大きな声で「憧れの高校に入学できた喜びと同時に、不安もいっぱいありますが、本日この対面式で、先輩方は厳しい中にも、暖かく迎えてくれました。高校生活が有意義なものとなるよう、充実したものとなるよう、精一杯頑張ります。」と挨拶しました。その後、自己紹介！！

応援部長の前に設けられた壇上に一人で上がり、応援部長に対して、男子生徒は「オッス」、女子生徒は「1年〇組」と大きな声を出して、応援部長から「オッス」という返礼がもらえれば、晴れて「氏名・出身中学校・入部したい部」を自己紹介ができるというものでした。応援部長に向かって、何度も何度も挑戦し立ち向かう新入生の姿勢は立派なものでした。

中には、一発芸「位置について、スフィンクス」、「バーベルを持ち上げて、にゃ〜」などと、パフォーマンスを披露する強者がいたことには驚かされましたが、同時に心強く頼もしく感じました。

新入生全員が自己紹介をした後は、2, 3年生の地鳴りのような圧倒的な声で、体育館中に響きわたる素晴らしい「第一応援歌」が新入生に紹介されました。



新入生のみなさんは、間違いなく上級生の迫力に圧倒され、同時に、上級生は「憧れの存在」になったことだと思います。その後は、新入生に対する盛大な「エール」が送られました。

「頑張れ頑張れ！1年」「ファイトファイト！1年」「やるぞやるぞ！黒陵」。上級生の圧倒的なエールに、新入生の心は奮い立っただけに違いありません。

新入生退場の際には、上級生から自然発生的に、新入生を1年生と認めた証のような拍手がわき上がりました。

応援部、有志、生徒会の生徒のみなさんは、入念な準備をしたうえで実施運営してくれたとききました。感謝！！

## みちのく春季陸上1部 結果

===男子1部===

●110m障害 第2位 菊地琳太郎 15秒97 (2年2組)

第3位 小原飛雄大 16秒28 (3年3組)

●200m 第2位 菊地琳太郎 22秒23 (2年2組)

===女子1部===

●100m 第1位 大山里花 12秒75 (3年2組)

【4月8日岩手日報 掲載記事】

レース前は体が重かったが、向かい風でも体が動いた。腕を後ろに大きく引くイメージの動きが試合でもできた。今季初のレースで12秒台が出たので、安心した。

●110m障害 第1位 駒ヶ嶺光瑠 15秒17 (3年1組)

第3位 八重樫叶子 16秒11 (2年4組)

●走高跳 第3位 熊谷奈保 1m40 (3年2組)

【4月10日 岩手日報 掲載記事】

1部女子110m障害は、駒ヶ嶺光瑠(黒沢尻北3年)が15秒17で優勝。終盤の伸びで後続を突き放し、大会記録まで0秒14に迫る力走を見せた。スタート直後はリードを許す展開だったが、焦らずに自分のペースで走った。冬場の走り込みで足腰を強化。一冬越してスピードが増したことが栄冠につながった。今後は自己ベスト(14秒73)の更新が目標。1台目のハードルまで加速することが重要で、ストライドや足の運びを考えながら練習を繰り返している。「最初のハードルまで7歩で走るとうまくいく。東北大会に出場したい」と意欲を燃やした。

これから大会に参加する多くの部に対して、元気をもらい、激励もらったように感じた陸上競技部の活躍でした。

今後の活躍も、大いに期待しています！！